



株式会社UKCホールディングス

2015年(平成27年)3月期 第1四半期決算説明資料

2014年8月8日



株式会社 UKCホールディングス





2015年3月期 第1四半期決算(連結)概況

事業セグメント	4
2015年3月期 第1四半期 ハイライト	5
2015年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業	6
2015年3月期 第1四半期 電子機器事業	7
2015年3月期 第1四半期 システム機器事業	8
2015年3月期 第1四半期 財政状態(バランスシート)	9



2015年3月期 第1四半期決算(連結)概況

事業セグメント



事業部門(セグメント)		主要製品	主要顧客／市場
半導体及び電子部品事業	半導体	イメージセンサー、メモリー、マイコン、システムLSI、その他半導体	エレクトロニクスメーカー
	電子部品	液晶パネル、タッチパネル、バッテリー、光学ピックアップ、ACF※、基板、複合部品、その他一般電子部品	
	EMS	電子機器受託製造サービス (Electronic Manufacturing Service)	
	その他	LED照明、太陽光パネル	店舗、工場、オフィス、メガソーラー
電子機器事業	電子機器	各種VTR、カメラ、音響映像関連機器、ビデオプリンター	放送局、プロダクション、一般企業、教育機関、医療機関、半導体製造装置メーカー、システムインテグレータ
	記録媒体品	磁気テープ、光ディスク、データ記録用ディスク	
	製品	電子機器を組み合わせたシステム製品、セキュリティ関連製品	
	その他	電子機器の修理、AV機器のレンタル、教育用ソフトウェア	
システム機器事業	産業電子機器及び伝送端末機器	非接触ICカード(FeliCa, NFC)R/Wモジュール、電子決済端末、出入管理端末	電子決済市場、デジタルサイネージ市場、PC・タブレットメーカー
	その他	信頼性試験受託業務、環境物質分析受託業務	半導体・部品メーカー、太陽電池メーカー

※ 異方性導電膜 (Anisotropic Conductive Film):

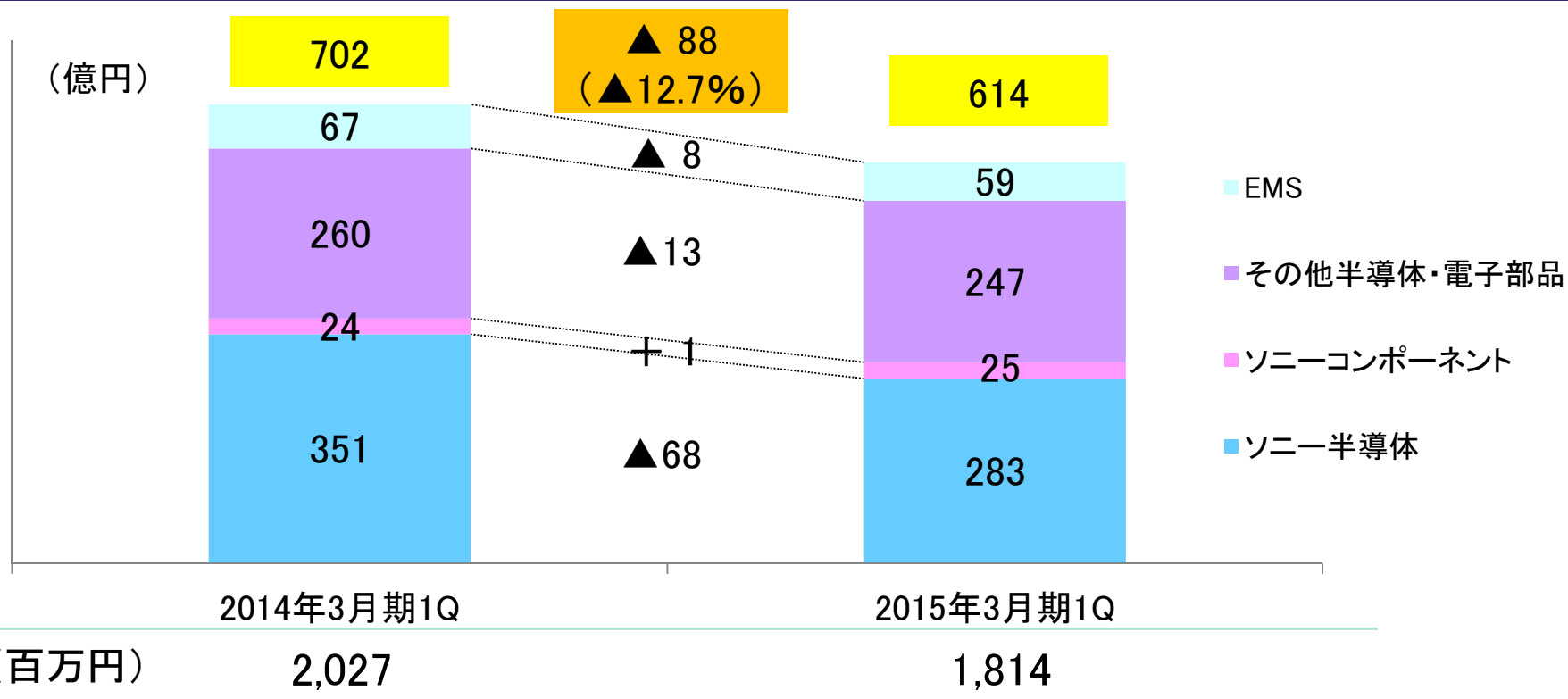
中・小型液晶パネルとフレキシブルプリント基板を接合するフィルム型の実装材料

2015年3月期 第1四半期 ハイライト

(単位:百万円)	2014年3月期 第1Q		2015年3月期 第1Q		第1Q進捗率		前年同期比	
	金額	構成	金額	構成	2Q累計予想 (5/9公表)	進捗率	増減金額	増減率
売上高	73,529	100.0%	64,339	100.0%	140,000	46.0%	▲9,189	▲12.5%
売上総利益	4,500	6.1%	4,357	6.8%			▲143	▲3.2%
SGA	2,685	3.7%	2,811	4.4%			+126	+4.7%
営業利益	1,815	2.5%	1,545	2.4%	2,900	53.3%	▲269	▲14.9%
経常利益	1,817	2.5%	1,406	2.2%	2,800	50.2%	▲411	▲22.6%
四半期純利益	1,254	1.7%	921	1.4%	1,800	51.2%	▲332	▲26.5%
EPS(円)	79.88		58.72		114.66			

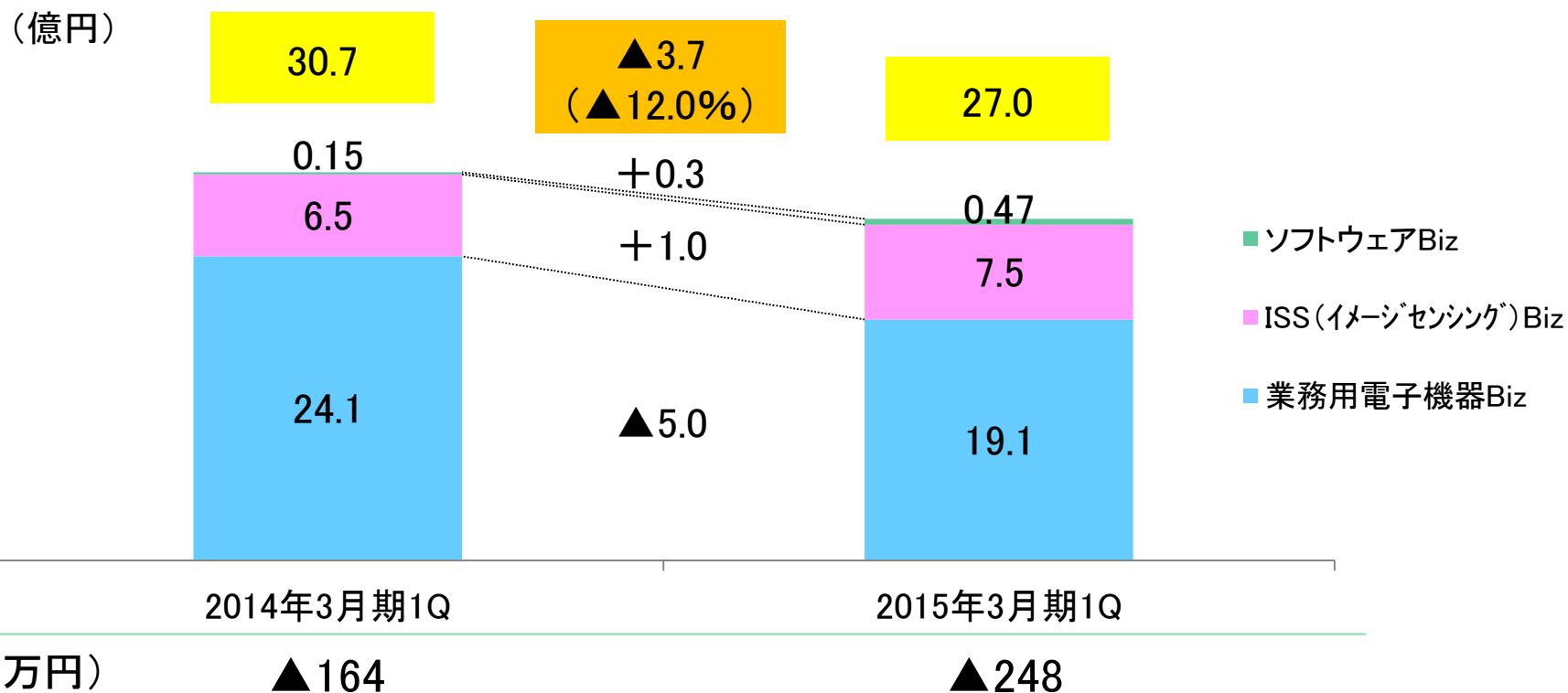
- ▶ 売上高:前年同期比▲92億円(▲12.5%)
主に、海外のスマートフォン向け販売の一時的な停滞により前年同期比減
- ▶ 売上総利益:前年同期比▲143百万円(売上総利益率+0.7%)
国内販売比率の向上に伴い粗利率は改善したものの、減収の影響により前年同期比減
- ▶ 営業利益、経常利益、四半期純利益は前年同期比減も、2Q累計予想に対する進捗率は期初想定範囲
 - ・営業利益:主に海外でのSGA増加もあり、前年同期比▲2.7億円(▲14.9%)
 - ・経常利益:為替差損益の悪化(46百万円差益⇒167百万円差損)もあり、前年同期比▲4.1億円(▲22.6%)

2015年3月期 第1四半期 半導体及び電子部品事業



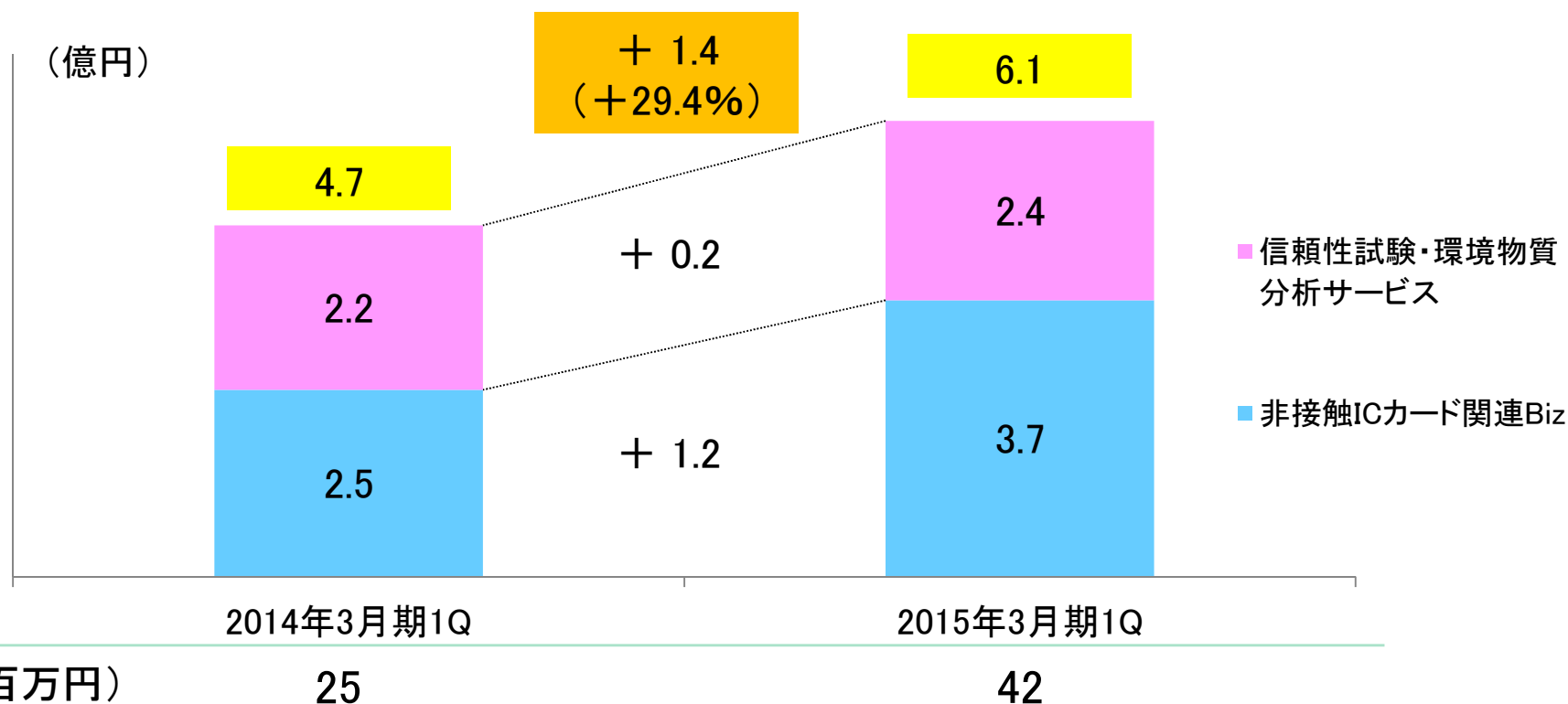
- ソニー半導体: 主に海外スマートフォン向け製品の販売が減少
- その他半導体・電子部品: 一部液晶製品の販売が減少
- EMS: 中国自社工場(液晶モジュール基板実装)は順調に推移するも、ファブレス事業は低調
- 粗利率は向上したものの、減収の影響によりセグメント利益は前年同期比減

2015年3月期 第1四半期 電子機器事業



- 業務用電子機器ビジネス
前年同期にあったような大型案件が第2四半期以降にずれこむことにより減収も、ほぼ期初計画通りの業績推移
- イメージセンシングビジネス
海外向け販売が好調に推移
- 減収の影響により、セグメント損失は前年同期比悪化

2015年3月期 第1四半期 システム機器事業



- 非接触ICカード関連ビジネス
電子マネー利用者の増加に伴う電子決済端末採用企業の裾野の広がりもあり、売上が大きく伸長
- 半導体及び電子部品の信頼性試験・環境物質分析サービス
前年同期と比較すると需要は回復傾向
- 増収効果により、セグメント利益も前年同期比で大きく伸長

2015年3月期 第1四半期 財政状態(バランスシート)



(単位:百万円)		14/3月末	14/6月末
現預金		17,658	20,462
売上債権		69,633	64,863
棚卸資産		18,416	19,696
その他		5,804	6,695
流動資産計		111,512	111,718
固定資産計		6,924	6,771
総資産		118,436	118,490

仕入債務		37,487	35,797
短期借入金 [※]		18,164	20,471
その他		5,388	3,709
流動負債計		61,040	59,978
長期借入金		5,893	6,593
その他		1,076	985
固定負債計		6,970	7,579
純資産		50,425	50,932

自己資本比率	42.2%	42.7%
---------------	--------------	--------------

BPS(円)	3,186.08	3,222.35
---------------	-----------------	-----------------

※ 1年内返済予定の長期借入金を含む

	前期末比	主な増減要因
総資産	+ 53	<ul style="list-style-type: none"> ・現預金 +2,804百万円 ・棚卸資産 +1,280百万円 ・その他流動資産(貸倒引当金除く) + 813百万円 ・売上債権 ▲4,769百万円
負債	▲ 453	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金[※] +2,307百万円 ・未払法人税 ▲ 952百万円 ・仕入債務 ▲1,690百万円
純資産	+ 507	<ul style="list-style-type: none"> ・四半期純利益 921百万円 ・利益剰余金からの配当 ▲313百万円 ・為替換算調整勘定 ▲ 94百万円
自己資本比率	+0.5%	利益剰余金の増加等により42.2%から42.7%へと微増





株式会社 UKCホールディングス

〈お問い合わせ先〉

経営企画部 大澤

Mail to: ir@ukcgroup.com

本プレゼンテーション資料中のデータや将来予測は、資料作成時点における当社の判断や入手可能なデータに基づくもので、今後様々な要因によって変化することがあり、その情報の正確性及び完全性を保証するものではありません。